



第16回日本加速器学会年会・特別講演

技術史から学ぶ物理・化学教育

90年前の物理実験機器と元素周期表

ドローンや人工知能、ロボットなど、新しい技術がすぐに社会で活躍するとはかぎりません。活躍する技術とうまくいかない技術とで何がちがうのか、京都大学総合博物館の塩瀬隆之先生にその見分けるヒントを解説していただきます。塩瀬先生は、「情報がいかに伝わるか」というコミュニケーションデザインの研究と同時に、NHK Eテレ「カガクノミカタ」の番組制作委員を務めるなど、科学技術の歴史から最先端技術まで様々な分野の科学技術にも造詣が深く、幅広い視点で科学技術社会の楽しみ方を教えてください。



塩瀬隆之

京都大学総合博物館 准教授
NHK Eテレ「カガクノミカタ」
番組制作委員、日本科学未来館
おやっこひろば総合監修、
平成29年度文部科学大臣表彰・
科学技術賞(理解増進部門)ほか。

特別
講演
2019

7月31日(水)

参加費無料・申込不要

どなたでもご参加いただけます

18:30 ~ 20:00 (開場 18:20~)

百周年時計台記念館 (京都大学 吉田キャンパス)



会場
(時計台)

問合せ先：日本加速器学会年会ヘルプデスク / pasj-desk@bunken.co.jp

主催：日本加速器学会

共催：京都大学エネルギー理工学研究所、京都大学化学研究所、量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所

後援：公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー